

2023年度 指定管理者導入施設総合評価表

【施設概要】		所管課	産業連携開発課
施設名	須崎市技術情報センター		
所在地	須崎市大字井上1835番地1		
施設設置目的	IT機器を利用した産業支援、テレワーカー等情報技術を活用できる人材の育成、産業人材の育成及び各種行政情報を発信する市民サービス等の提供を図る。		
施設概要・設備	【建物の構造】 鉄骨2階建 延べ床面積668.47㎡ 敷地面積1,000㎡ 耐用年数38年 【施設の内容】 1階:多目的セミナールーム・パソコンルーム・事務室 2階:テレワーク室1・テレワーク室2・共用機器室		
建設年月	2000年4月	指定管理 開始年月	2010/4/1

【指定管理概要】

指定管理者名	(特非)信州SOHO支援協議会
指定期間	2023年4月1日～2026年3月31日
業務内容	利用の許可、許可の取り消し並びに利用の制限及び停止に関する業務 施設及び備品等の維持管理に関する業務 利用料の徴収、減免及び還付に関する業務 自主事業に関すること 施設利用者へのアンケート調査
職員体制	常勤:2名 非常勤:3名 相談員:1名 合計:6名
(専門職、役職等内訳)	所長、相談員

1 施設利用状況

項目	単位	目標値	実績			対前年比	対目標値
			2021年度	2022年度	2023年度		
利用件数	件	1,500	1,179	937	1,062	113.3%	70.8%
利用者数	人	9,000	6,587	5,611	5,495	97.9%	61.1%
特記事項							

2 収支の状況

単位:千円

指定管理者			市				
科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額		
収入	指定管理料	12,700	12,700	収入	使用料・手数料	0	0
	使用料・手数料	1,200	907				
	その他				その他		
	収入計	13,900	13,607		収入計		
支出	人件費	7,113	7,299	支出	指定管理料	12,700	12,700
	需用費	6,061	4,949		修繕費	265	0
	役務費	587	570		備品購入費		
	その他	36	89		その他	0	0
	支出計	13,797	12,907		支出計	12,965	12,700
管理事業損益 (a)	103	700	管理事業損益	-12,965	-12,700		

損益 (a) + (b) 管理事業損益 + 自主事業損益	700
---------------------------------	-----

特記事項	昨年度に比べ収入を増やし支出を減らし黒字を増加させた
------	----------------------------

3 自主事業の実施状況

自主事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・各種IT講習会 ・子供プログラミング教室 ・レーザー加工機を使ったものづくり ・ミニドローン体験 ・情報センター科学クラブ ・デジタルの日、オープンデータ日関連イベント
--------	---

単位:千円

自主事業名	収入	支出	備考	
各種IT講習会	174	174		
子供プログラミング教室	183	183		
レーザー加工機を使ったものづくり	550	550		
ミニドローン体験	52	52		
情報センター科学クラブ	386	386		
デジタルの日などイベント	93	93		
合計	1,438	1,438	自主事業損益(b)	0

4 利用者評価

①利用者要望の把握	(1)利用者要望の把握方法(時期・方法・回答数等)
	実施時期: 随時 調査対象: 利用者・自主事業の受講者 調査方法: アンケート(紙とオンライン併用)
②利用者からの声	(2) 調査等の結果
	アンケート回収: 61件
③対応措置	(1)良好とする評価
	<ul style="list-style-type: none"> ・役員になってしまったので、WordやExcelの講習会があって嬉しい ・このような講座(Word、Excel)が多くあるといいと思う ・わからないところを無料で相談にのってくれるのがありがたい ・スマホでわからないことを聞きにこれる場所があるのがとても助かる
③対応措置	(2) 苦情・改善の要望
	<ul style="list-style-type: none"> ・WordやExcelの講座をもっと多く定期的にやってほしい
③対応措置	<ul style="list-style-type: none"> ・講座は需要を見ながら定期的に企画していきます

5 項目別評価			評価	評点
1	指定管理者の健全性	団体の財務状況(※営利企業のみ)や組織体制は、他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か	○	2
2	施設利用状況	施設の利用者数や稼働率は適正であるか	△	1
		施設の利用者数や稼働率を維持、向上させるための取り組みや工夫がおこなわれているか	○	
3	財務状況・経理	指定管理業務会計と自主事業や団体の会計を区別して、適正に管理しているか	○	2
		収支予算に基づき、予算の範囲で適切な支出が行われているか施設運営に不要な経費の支出がないか	○	
		収入増加への取り組みを行い、その効果はあったか※無料施設は対象外	○	
		経費節減への取り組みを行い、その効果はあったか	○	
		経理帳簿や伝票等の保管、現金の取扱は適切に行われているか	○	
4	施設運営管理	協定書に定められた閉館日、開閉館時間等を遵守しているか	○	3
		日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	◎	
		利用者が快適に利用できるよう、施設の清掃や整理整頓が行われているか	○	
		施設の備品を適切に管理しているか	○	
		必要な修繕は適切に実施され、市に報告しているか	◎	
		協定書等で定められた事業計画・報告書、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	○	
		業務の第三者委託の範囲、理由、委託先は適当であるか	○	
		省資源・省エネルギー、廃棄物減量等環境への配慮がされているか	○	
5	職員体制	施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	○	2
		職員の資質・能力向上を図る取り組みや研修がなされたか	○	
		労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか	○	
6	利用者サービス	利用者に対する職員の接客マナー(言葉づかい、態度、服装等)は適切か	○	3
		障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理・運営がなされているか	○	
		特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	○	
		地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域交流の支援を実施しているか	◎	
		アンケート調査や意見箱等により、利用者からの意見や苦情等を把握し、施設運営に反映する仕組みが整っているか	○	
7	安全対策・危機管理	危険箇所の把握や対応マニュアルの策定等、事故防止や安全確保のために必要な対策が講じられているか	○	2
		事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	○	
		必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求の対応措置が講じられているか	○	
		利用者名簿等の個人情報適切に管理されるとともに、職員研修の実施等、漏洩防止の対策が講じられているか	○	

合計点 15 点

総合評価 A

評点

- ・各項目の評価に◎があり、その他は○…3点
- ・各項目の評価がすべて○…2点
- ・各項目の評価に△があり、×はない…1点
- ・各項目の評価に×がある…0点

総合評価

- A (優れている) 合計15点以上
- B (適正) 合計14点
- B' (若干の改善が必要) 合計11点~13点
- C (さらなる努力が必要) 合計10点以下

評価基準

- ◎ … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業の適切な実施かつ期待以上の成果。
- … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業が適切に実施されている。
- △ … 協定、事業計画に基づく管理運営の一部が予定どおり実施されていない。
- × … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が行われていない。

6 指定管理者による自己評価

(1)今年度の取り組みに対する評価

コロナによって減ってしまった利用者を取り戻すため、まずSNSでの発信に力をいれました。情報センターの紹介から、自主事業の案内などしてきたことから、徐々にではありますが効果が見られる事例もできました。また、講習会や講演会に利用されるお客様のなかには、配信とのオンデマンド利用や収録後日Youtubeなどにアップロードを希望されるお客様も増えてきているので、そこを対応できるのが情報センターとしての強みなのかとも考えられます。

(2)課題

昨年同様、コロナ前に頻繁に会議や集会で利用されていた方々の利用がコロナ禍で無くなって以降戻ってこない。その分の新たな利用者を増やすにはどうするか。また人材育成の拠点としての情報センターをどうアピールし利用に繋げていくか。

(3)次年度以降の取り組み

- ・今年度力を入れたSNSでの発信を引き続き行うとともに、情報センターや信州SOHO支援協議会としての活動をまとめた冊子をつくったのでアピールしていきたい。
- ・ネット環境も整っているため、テレワークオフィス、ノマドワークに使ってもらえるようにしていきたい。
- ・映像配信、映像収録などもできるので利用してもらえるようにしていきたい。
- ・ものづくりワークショップや子供プログラミング教室、科学クラブといった活動を通して出来た世代を超えた繋がり、地域との繋がりをもっと広げ、学校の教育活動のお手伝いできればと考えています。

(4)その他

大きな商業施設が建設予定の今、会議室やレンタルオフィスのような使い方をしてもらえればと考えています。

7 市による総合評価

(1)今年度の取り組みに対する総合評価

利用者がコロナ前の水準に戻っていない。インター近くの利便性、安価な利用料、常住する専門職員のスキル、定期的に開催している自主事業等、これまで培ってきた情報センターの強みをSNS等で利用したい人に確実に情報を届ける必要があると考える。

インター周辺に大規模商業施設が建設予定であり、今後どのように繋がっていくのか、また、そもそも技術情報センターがこういった機能があり須坂市にとって産業人材育成の拠点として機能していくのか考えていく必要がある。